

29:1 あなたは、彼らを祭司としてわたしに仕えるように聖別するため、次のことを彼らにしなければならない。すなわち、若い雄牛一頭、傷のない雄羊二頭を取れ。  
29:2 種を入れないパンと、油を混ぜた種を入れない輪型のパンと、油を塗った種を入れないせんべいを取れ。これらは最良の小麦粉で作らなければならない。  
29:3 これらを一つのかごに入れ、そのかごといっしょに、あの一頭の雄牛と二頭の雄羊とをささげよ。  
29:4 アロンとその子らを会見の天幕の入口に近づかせ、水で彼らを洗わなければならない。  
29:5 あなたは、装束を取り、アロンに長服とエポデの下に着る青服と、エポデと胸当てとを着せ、エポデのあや織りの帯を締めさせる。  
29:6 彼の頭にかぶり物をかぶらせ、そのかぶり物の上に、聖別の記章を掛ける。  
29:7 そそぎの油を取って、彼の頭にそそぎ、彼に油そそぎをする。  
29:8 彼の子らを近づけ、彼らに長服を着せなければならない。  
29:9 アロンとその子らに飾り帯を締めさせ、ターバンを巻きつけさせる。永遠のおきてによって、祭司の職は彼らのものとなる。あなたは、アロンとその子らを祭司職に任命せよ。  
29:10 あなたが、雄牛を会見の天幕の前に近づけたなら、アロンとその子らがその雄牛の頭に手を置く。  
29:11 あなたは、会見の天幕の入口で、主の前に、その雄牛をほふり、  
29:12 その雄牛の血を取り、あなたの指でこ

れを祭壇の角につける。その血はみな祭壇の土台に注がなければならない。  
29:13 その内臓をおおうすべての脂肪、肝臓の小葉、二つの腎臓と、その上の脂肪を取り、これらを祭壇の上で焼いて煙にする。  
29:14 ただし、その雄牛の肉と皮と汚物とは、宿営の外で火で焼かななければならない。これは罪のためのいけにえである。  
29:15 あなたは雄羊一頭を取り、アロンとその子らはその雄羊の頭に手を置かななければならない。  
29:16 あなたはその雄羊をほふり、その血を取り、これを祭壇の回りに注ぎかける。  
29:17 また、その雄羊を部分に切り分け、その内臓とその足を洗い、これらをほかの部分や頭といっしょにしなければならない。  
29:18 その雄羊を全部祭壇の上で焼いて煙にする。これは、主への全焼のいけにえで、なだめのかおりであり、主への火によるささげ物である。

動物のささげものは命の犠牲を伴うものですから、イエス様のひな型です。またパンは粉を細かく挽くところから作られるので、それは砕かれた状態すなわち謙遜を表します。このように私たちも主のみこころを満足されるようささげものをしましょう。

ここでは祭司についての定めが記されています。主の働きをする者はこのように整えられる必要があります。祭司の装束は主によって贖われた者の状態を表し、動物を焼いて煙にするのは完全なる献身を表します。私たちも主の奉仕をするのだから、つまり良いことをしているのだから、それで良いじゃないかと安易に考えずに、主の働きにふさわしい者となることを望みましょう。私たちは新約の祭司です。十字架の救いと献身を新たに

て、行動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

